

「新生チーム千代田西部小」出発！



4月12日（金）、新しい仲間が千代田西部小に加わりました。新1年生44名とその保護者の皆様です。「笑顔と夢に溢れ地域と共に歩む」学校創りを目指す私達に、心強い仲間が加わりとても嬉しく思いました。さて、新入生は、式の間中、本当に行儀よく参加することができ立派でした。では、新入生の成長と学校運営の想いを綴った入学式での式辞を紹介します。

【式辞】

- ・学校は、とっても楽しいところ。クイズを出すよ。「スポーツ選手」「ケーキ屋さん」「警察官」・・・みなさん、何のことだか分かりますか？
- ・これは、全国の新1年生に聞いた将来の夢。1年生のみなさんも、沢山夢があるでしょう！
- ・夢を叶えるために頑張ってほしいことは

- ① 先生の話をよく聞き「新しい世界をたくさん知ろう」
- ② みんな遊び「友達をいっぱいつくろう」
- ③ 「自分の命は、自分で守ろう」

- ・この3つの約束を守って、元気いっぱい、優しさいっぱいの素敵な1年生になりましょう。
- ・子どもの純粋な夢の実現を後押しするのは、学校と保護者の皆様。ぜひ、パートナーに！

ご協力どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、新1年生の皆さんと保護者の皆様に、ある詩を紹介します。

「もう 泣かない」

喧嘩に負けても かけっこに負けても
僕はもう泣かない
だって 一年生に なったんだもの

失敗しても 思い通りにならなくても
私はもう泣かない
だって 一年生に なったんだもの

でも もし泣きたくなったら
その時だけ お願い
内緒で 「ギュッ」と 抱きしめてね！

- ・1年生の皆さん、この詩のように逞しく育ってください。保護者の皆様、広い視野、大きな愛で見守り、励ましていただければ幸いです。
- ・私たち職員は、「チーム千代田西部小」として全力で努力します。このチームに保護者の皆様、来賓の皆様も加わっていただき、より良い千代田西部小を創って参りましょう。

社会が求める若者の姿は？

4月は新たなスタートが切られる季節。ある新聞に掲載されていた、入社式における、企業トップの訓示が心にとまりました。共感するものが数多くありましたので、ぜひ皆さんにもお裾分けを！

門出にあたり四つの言葉を捧げたい。

1. 指示待ちではなく「自分ならどう行動するか」という習慣を身に付け人としての魅力を高めること。
2. 過去にとらわれず「前例がないからやる」という考えをもつこと。
3. 毎日自らを省みて、先を見つめる時間を30分はもつこと。
4. 目標を定め、「決して諦めない」という強い心を持つこと。

その上で、前向きな姿勢で仕事と自分の人生を楽しんでほしいと締められていました。

この訓示を読み、胸が熱くなったと同時に、こんな力をもった子ども達を、この西部の里から育てたいと強く思いました。

しかも、この訓示、たった一人の新入社員のためのものだったとか…。その新入社員にとって、かけがえのない人生の1ページになったのだと思います。一人ひとりを大事にするって、こんなことかな？とも思った新年度のスタートでした。今求められる人材像を確認し、それらの能力を身につけさせることは学校教育の使命。本当に勉強させて頂きました。



～ホット一息～

入学式後の数日、1年担任はもちろんのこと、級外や管理職も総出で、新1年生を送って行きました。外から見れば、ご苦労様…なのでしょうが、愉しかったこと愉しかったこと！「この道を歩いているんだね」。春風を感じながら素敵な時間を頂きました。そして、数年前のことですがこんな夢のある話があったことを思い出しました！

「将来の夢は何？」
「パテシエだよ。ママがそのためお金を貯めてくれてるって。」

「僕は自分で貯めるよ」

「バイトでもするの？」

「うん、コンビニでバイトする…」

春風に吹かれながら、こんなに楽しい話ができるなんて…。おかげさます。ありがとうございます！

（この話はノンフィクションですよ(*^▽^*)）



